

様式第3（第8関係）

指定管理者評価判定結果報告書

令和3年7月6日

高浜市長 殿

高浜市やきものの里かわら美術館
指定管理者選定評価委員会
委員長 森 克 徳

令和2年度の指定管理者の評価の判定結果について、高浜市指定管理者の評価に関する指針第8の規定により報告します。

1. 施設の名称	高浜市やきものの里かわら美術館			
2. 指定管理者の名称	乃村工藝社・NTTファシリティーズ美術館運営共同事業体			
3. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和5年3月31日			
4. 協定書・事業計画書等に基づく管理の概要	・かわら美術館の利用及びその制限に関する業務 ・かわら美術館の管理運営に関する業務 ・かわら美術館の利用に関する料金徴収に関する業務 上記に掲げるもののほか、市長が必要と認めた業務			
5. 大分類項目の評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
① 総則に関する事項	150点	148点	98.7%	A
② 施設設備の維持管理に関する事項	90点	90点	100.0%	A
③ 運営及びサービスの質の向上に関する事項	390点	352点	90.3%	A
6. 総合評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
総合評価	630点	590点	93.7%	A
7. 評価結果についての講評				
別紙のとおり				

【別紙】

評価結果についての講評

(総評)

- ・コロナの影響で展覧会のスケジュールの変更が余儀なくされて、とても大変な1年だったと思う。制限される中で行える美術館運営をしていただいたと思う。
- ・コロナ禍により評価しがたい項目が多い中でもいろいろな取り組みを試みえたので今後につながる期待が大きくもてると思った。
- ・コロナ禍の対応は、特例として評価すべき。
- ・コロナ禍で大変な1年だったと思われる。かわら美術館の運営の下支えは協力者だと思われ、かわら美術館を運営していく上での協力者の確保及び関係機関との連携は、その基礎なので、今後、その点を念頭に入れての管理をお願いしたい。
- ・評価のメインが施設の維持管理面に重点化しており、早く本来の姿に戻ってほしいと期待する。
- ・限られた予算の中で、創意工夫して美術館運営されている点を評価する。コロナ禍にあって非常に残念な状況もあるが、延長した2年間で更なる「みんなで美術館」構想を進めていただきたい。
- ・コロナ禍であったが、様々な工夫をこらした美術館運営がされていた。

(展覧会)

- ・企画展「土と炎の継承」について、急きょ新規で組み込んで実施されたことは大変な作業でとても評価できることと思う。

(連携)

- ・学校と美術館との繋がりが上手くいっていない印象がある。美術館側からのアプローチをもう少し市行政・学校側が受け入れる努力をしていただけるようお願いしたい。子ども達の想像力を養う施設として、かわら美術館をもっと活用してもらいたい。
- ・「鬼滅ブーム」による収益アップを今後にかせると良いと思う。
- ・令和3年度は学芸員による「鑑賞」の研修(教員向け)や、ICTを活用した出前授業等を計画されているので学校と美術館の連携強化を期待したい。